

# コロナ禍における国内外の留学生を 対象とした日本語ライティング サポートの実施報告

学習支援・教育開発センター アカデミック・インストラクター 大谷紗也加

学習支援・教育開発センター 助教 趙智英

## 1. はじめに

2021年度秋学期、同志社大学今出川校地の良心館ラーニング・コモンズ、京田辺校地のラーネット記念図書館ラーニング・コモンズ（以下、LC）にて期間限定イベントを開催した。その名も「日本語ライティングサポートWEEK」（以下、JWSと略す）である。両校地のアカデミックサポートエリア（以下、ASA）では学生からの学習の悩み、疑問を受け付けているが、JWSでは留学生のライティングに特化した学習支援を行った。ここでは本イベントの実施概要とその結果について述べ、今後の課題について整理したい。

## 2. 日本語ライティングサポートWEEKの実施概要

JWSとは同志社大学大学院に在籍する留学生を対象とした学習支援イベントである（図1）。開催期間は2021年11月22日から12月10日までの14日間である。今出川校地では月曜日、火曜日、木曜日の3講時目（13時10分～14時40分）、4講時目（14時55分～16時25分）の90分間、京田辺校地では水曜日と金曜日の4講時目の90分間実施した。対面での参加は予約不要だが、コロナウイルス感染症の影響により来学が困難な留学生もいると想定し、オンライン相談も可能とした。オンライン相談の場合、ネット環境の整備や端末の準備の必要があるため、Microsoft Formsを使用し、オンライン相談専用フォームを設け、事前に予約を受け付けた。専用フォームから日時を予約してオンライン相談を受ける留学生は、氏名、学生ID、所属、学年、希望する時期、簡単な相談内容を入力する。オンライン相談予約が入ったら教員およびアカデミック・イ

ンストラクターが内容を確認し、メールでLCのMicrosoft Teamsチーム「おうち De LC ポータル」の相談用チャンネルを案内した。

相談は、ASAに常駐する教員およびアカデミック・インストラクターが中心となり、原則日本語で対応した。相談者が持参した日本語のレポートや論文を読み、文法や表現など一言一句を確認し、より良い書き方についてアドバイスした。なお、1回当たりの相談対応時間は30分以内とし、開催期間中であれば何度でも相談可能とした。

The figure contains four posters for 'Japanese Writing Support Week' (JWS) in Japanese, English, and Korean. Each poster provides the following information:

- Japanese Poster (Top Left):**
  - 期間限定 (Limited-time offer), 大学院生限定 (Only for Postgrad Students), 予約不要 (No Appointment Necessary)
  - 日本語ライティングサポートWEEK
  - 対象: 全研究科の外国人留学生
  - 期間: 11月22日(月)～12月10日(金)
  - 今出川校区 (Imadegawa Campus) and 京田辺校区 (Kyotanabe Campus)
  - 時間: 月 13:10-14:40 (3课时), 火・水 14:55-16:25 (4课时)
  - 場所: 良心館ラーニング・commons, アカデミックサポートエリア(3階)
  - 海外からオンラインで相談を受けたい方: 事前右のフォームから予約してください
- English Poster (Top Right):**
  - A Limited-time offer, Only for Postgrad Students, No Appointment Necessary
  - Japanese-Writing SUPPORT WEEK
  - For: Any Post-graduate Students, Graduate Schools of Doshisha University
  - Date: 22<sup>nd</sup> November (Mon.) ~ 10<sup>th</sup> December (Fri.)
  - Imadegawa Campus and Kyotanabe Campus
  - 時間: Mon. 13:10-14:40 (3<sup>rd</sup> period), Tue. 14:55-16:25 (4<sup>th</sup> period)
  - 場所: Ryoshinkan Learning Commons, Academic Support Area (3F)
  - 海外からオンラインで相談を受けたい方: Please make appointments here →
- Japanese Poster (Bottom Left):**
  - 限时有效 (Limited-time offer), 仅限大学院生 (Only for Postgrad Students), 不用预约 (No Appointment Necessary)
  - 日语写作指导 WEEK
  - 对象: 以本校在读留学研究生为对象的日语写作指导活动正在进行中
  - 时间: 11月22日(周一)～12月10日(周五)
  - 今出川校区 (Imadegawa Campus) and 京田辺校区 (Kyotanabe Campus)
  - 时间: 周一 13:10-14:40, 周二-四 14:55-16:25
  - 地点: 良心馆 Learning Commons, Academic support area (3楼)
  - 想要网上接受指导的海外同学: 请事先右栏二维码预约
- Korean Poster (Bottom Right):**
  - 기간 한정 (Limited-time offer), 대학원생 한정 (Only for Postgrad Students), 예약 불필요 (No Appointment Necessary)
  - 일본어 Writing SUPPORT WEEK
  - 대상: 도시샤 대학 대학원에 재직하는 외국인 유학생을 대상으로 일본어 라이팅 서포트를 실시합니다!
  - 기간: 11월 22일(월) ~ 12월 10일(금)
  - 이마데가와 캠퍼스 (Imadegawa Campus) and 교타나베 캠퍼스 (Kyotanabe Campus)
  - 요일: 월 13:10-14:40(3교시), 월·화·목 14:55-16:25(4교시)
  - 장소: 료신칸 Learning Commons, Academic support area(3층)
  - 해외에서 온라인으로 상담 가능합니다: 사전에 예약하시면 예약해 주시기 바랍니다

図1 JWSの多言語チラシ (日・英・中・韓)

### 3. 実施結果

JWS開催期間中、対面で6件、オンラインで5件、計11件の相談があった。延べ6名の留学生、うち4名が2回以上利用した。相談者の国籍は中国(3名)、韓国(2名)、

台湾（1名）となっており、コロナウイルス感染症の影響により本学に在籍しているものの、来日できていない学生もいた。利用学生の所属は社会学部<sup>1</sup>、法学研究科、総合政策科学研究科、グローバル・スタディーズ研究科、学年は学部3年、博士前期課程1年および2年、博士後期課程2年などばらつきがあった。なお、相談者にJWSを知ったきっかけについて尋ねたところ、ゼミ仲間の紹介やLCの掲示板を見て知った、寮のメールボックスに案内チラシが入っていたなど様々だった。

相談内容としては、レポート、修士論文、投稿論文、奨学金の申請書類や日本を紹介する冊子などの日本語を確認してほしいというものだった。JWSでは主に日本語の表現や文法、文章のつながりなどについて確認し、加筆修正を手伝い、改善点について説明してきた。日本語を確認するなかで、言語以外の内容、例えばテーマ設定や文章構成、論理展開などにおいてもアドバイスが必要だと思われる箇所も多々見受けられたため、日本語ライティング以外の点についても必要に応じて助言、アドバイスした。相談者の中にはリピーターが多く（6名中4名）、複数回利用した留学生からはアドバイスをを受けて作成したレポートや原稿の修正版を再確認してほしいという要望が寄せられたため、再度日本語チェックを行った。

しかし、いざ日本語をチェックするとなると想像以上の時間を要し、相談対応を30分程度で終了するのが難しい場合がほとんどであった。この課題を解決すべく、事前申し込みがあった際、相談者に対して日本語チェックを希望する原稿や書類などのデータを事前にメール送付するようお願いし、教員およびアカデミック・インストラクターが相談日までに目を通すようにした。このように助言すべき点についてあらかじめ整理しておくことで、相談対応時間の短縮につながった。

また、オンラインで相談対応を行う場合はコミュニケーションの取り方に配慮した。対面では相談者との距離が近いこともあり、相談者の言葉にし難い悩みや気持ちを、言語だけでなく表情や雰囲気からも汲み取ることができるが、オンラインでは工夫が必要である。JWSではオンライン相談者にビデオカメラをなるべくオンにするよう促した。対応するスタッフと相談者の相互の表情を確認することで、信頼や安心につながっているか、助言内容が理解できているかなど確認が取りやすくなるような環境づくりに努めた。

## 4. 今後の課題

JWSでは専門の異なる留学生から様々なライティングの相談が寄せられた。しかし、



相談に応じるなかで課題も見えた。それはサポート内容および体制の充実化である。

今回のJWSでは日本語の基礎的な内容について分かる範囲で助言は可能であったが、相談者の専門領域や分野に応じることでのアドバイスには至らなかった。一人ひとりの相談に対してより的確に応じるためには、学術分野に応じた執筆ルール、用語や表現法など専門的な知識が不可欠であるため、様々な学部や研究科と連携できれば望ましい。コロナ禍でどれぐらいの需要があるのか予測できなかったこともあり、今回は大学院生、さらに留学生向けのライティングに限定したイベント開催としたが、状況に応じて対象者の範囲を拡大し、ライティング以外の分野における学習サポートキャンペーンが実施できればなお良いだろう。

そのためにはサポート体制をより強化しなければならない。JWSではLCの教員およびアカデミック・インストラクター（各校地2名）が中心となって対応した。今後は通常の学習相談業務を担うラーニング・アシスタント（通称LA）がイベント開催時においても対応できるよう事前研修を実施するなど対策を考えたい。所属や専門が異なるLAを積極的に巻き込んだかたちで共に学習支援ができれば、サポート可能な内容、範囲ともに各段に増えるほか、学生と比較的年齢の近い大学院生が対応できれば、より気軽に相談できるかもしれない。今回のJWSの経験と反省を踏まえ、イベント開催時の学習支援のあり方の見直しと改善に取り組みたい。

## 付記

本稿で使用したデータは、同志社大学学習支援・教育開発センターの許可を得て使用した。

## 注

- 1 今回は留学生、なかでも大学院生を対象としたイベントであった。しかし、わざわざ相談に来てくれた場合には、実施期間中に留学生であれば学部生であっても相談を受け付けることにした。